

町の交差点

笑

桂川町子ども会指導者連絡協議会 顔をいっぱい楽しかったリーダーキャンプ

梅雨入りを目前に控えた6月5日～6日、湯の浦キャンプ場で桂川町子ども会指導者連絡協議会主催のリーダーキャンプが行われ、22名の児童が参加しました。夕食づくりは、小川に放流したヤマメをつかみ取りするところからスタート。「キャー！つかめ～ん！」「魚触りきら～ん！」と言っていた女子も、わんぱく男子に捕まえかたを習いながら、最後には「獲ったぞ～！」の笑顔。自分たちで薪を割り、火をおこし、作ったカレーと塩焼きにしたヤマメを食べました。夜はキャンプファイヤー、二日目はネイチャーゲームと、自然と大いにふれあい友だちと友情を深めるキャンプとなりました。参加した子ども達には、今後桂川町のリーダーになってほしいと願っています。



地

桂川小学校5年生 球温暖化学習「なんとかせんといかんバイ！」

5月28日、桂川小学校5年生の教室で地球温暖化防止推進員の伊藤鐵雄さん（土居一）等による“地球温暖化について考える”授業が行われました。地球温暖化が引き起こされるメカニズムや問題点、節電などエコに取り組むことの重要性などをミニ実験やビデオを使って子どもたちに紹介しました。授業後、子どもからは「なんとかせんといかんバイ！」「テレビゲームの時間減らそう！」「こまめに電気は消す！」などの声があがっていました。



▲ 応援合戦を前に、円陣を組む地球環境システム科の応援団

“絆” 第6回 嘉穂総合高校 体育祭 ～四つの輪”をスローガンに熱く燃えた体育祭

真夏を思わせるような日差しが降り注ぐ6月5日、嘉穂総合高校の体育祭が開催されました。嘉穂総合名物の趣向を凝らした各グループによる応援合戦、互いに声かけあいながら形を作り上げる組体操、コミカルな振り付けで可愛らしい女子のダンスなど弾けんばかりの若さと躍動感みなぎる数々の演技や競技に、観客席からも多くの拍手や声援が飛んでいました。閉会式では、大成功の体育祭に感極まって涙する生徒もいたり、熱く燃えた一日でした。